

2014 年度点検・評価シート

I 評価項目・担当部局

対象部局	経済研究所
評価基準 1	理念・目的
点検・評価項目(1)	1-1 大学・学部・研究科等の理念・目的は、適切に設定されているか。
評価の視点	理念・目的の明確化
	設置の主旨や歴史からみた理念・目的の適切性
	個性化・独自性、国際化への対応
点検・評価項目(2)	1-2 大学・学部・研究科等の理念・目的が、大学構成員（教職員および学生）に周知され、社会に公表されているか。
評価の視点	構成員に対する周知方法と有効性
	社会への公表方法
点検・評価項目(3)	1-3 大学・学部・研究科等の理念・目的の適切性について定期的に検証を行っているか。
評価の視点	責任主体・組織、権限、手続きを明確にしているか。また、その検証プロセスを適切に機能させているか。

II 点検・評価

【点検・評価項目ごとの現状説明】

1-1	経済研究所は、1987年4月、「経済に関する理論的研究および実証的調査研究を行うことを目的」（経済研究所規程第2条）に設置された。同3条において事業内容を「1. 調査・研究資料の収集・整理及び保管、2. 国内外の研究機関及び研究者との交流並びに共同研究、3. 研究会・講演会の開催、または助成、4. 調査・研究の成果の刊行、5. その他前条の目的を達成するために必要な事業」として定め各種事業を企画・展開している。
1-2	『研究所報』に規程を掲載し周知している。しかし、研究員や読者にどの程度浸透しているかについては、検証していない。
1-3	理念・目的を定期的に検証する体制が整っていないため、検証していない。

【効果が上がっている事項】

1-1	
1-2	
1-3	

【改善すべき事項】

1-1	
1-2	当研究所のホームページに、理念・目的について明記していないので改善を図る。
1-3	当研究所の理念や目的について、定期的に検証、見直しを図る。

本項目の根拠資料（データ類、裏付けとなる資料）

経済研究所規程、『研究所報』、『経済研究』

《指標データ》

なし

III 【達成目標】 目標の進捗状況は、「S：完全に達成」「A：概ね達成」「B：やや不十分」「C：不十分」で、評価する。

達成目標		目標達成の指標となるもの	評価					
			2014	2015	2016	2017	2018	
中期目標 (2014～ 2018)	1-1、1-3 当研究所の理念・目的とりわけ独自性について、運営委員会や研究部会等を通じて、検討する。	議論の内容が運営委員会や研究部会で報告されている。	→					
14 年度 目標	1-2 当研究所ホームページに理念・目的を明記する。	当研究所ホームページが適切に更新されている。	→	A				